

E&S DJR400FX

[基本事項]

ミキサーのON / OFFを行う前に、スピーカー、アンプなどの電源を切っておくことをお勧めします。ミキサーの電源を入れたり切ったりすると、回路に電流 / サージが流れ、「プツ」というポップ音が発生します。※DJR400FXには電源スイッチがありません。電源プラグを挿すと電源が入ります。電源をオフにする時は電源プラグを抜いてください。

電源は非常に熱くなりますのでご注意ください。これは、すべてのコンポーネントが高温になる部品であり、外側が熱収縮の役割を果たしているために起こる正常な状態です。電源をレコードから遠ざけ、土台の安定した風通しの良い場所に置くことをおすすめします。

直射日光や、電源、アンプ、ヒーターなどの熱を発生する機器から離れた場所に設置してください。操作や保管の際には、過度の汚れ、ほこり、熱、振動から保護してください。タバコの灰、飲み物、煙、特に喫煙の煙がかからないようにしてください。共振や振動のある場所に電源ユニットを設置しないでください。

[セットアップ]

DJR400をセットアップする最良の方法は、フェーダーのポットをユニティーゲインに設定することです。フェーダーポットのユニティーゲインは「7」です。（当店では6.5～6.75あたりがベストに感じますが、ここは各人のお好みで）ユニティーゲインに設定されている場合、ミキサーに入力されたレベルに可能な限り近いレベル、またはレコードがマスタリングされたレベルに一致するレベルを出力します。

最初にターンテーブルまたはCDを再生し、フェーダーポットを「7」に合わせます。その後、マスター出力メーターが0dBのピークに達するまでMasterポットを回して、お部屋に合ったレベルにします。この時、各チャンネルのCUEボタンが押し込まれていないことを確認してください。CUEボタンが押し込まれていると、レベルを示すLEDはマスターレベルではなく、各チャンネルのインプットレベルに反応しています。

ソースレベルに応じて、フェーダーポットを上げ下げして、マスターメーターの出力が0dBのピークを維持します。これは、ミキサーを使用して最高の音質を実現し、ミキサーの正しいレベルを維持するための正しい方法です。部屋の音量をもっと小さくしたり、大きくしたりする必要がある場合は、スピーカー / アンプ側の音量調整をおすすめします。

トラックのマスタリングは制作された時代によって変化しますし、異なるフォーマット（レコードやデジタルファイル）でも変化するため、DJにとって十分なヘッドルームを確保することは非常に重要です。フェーダーポットをフルポジションにしてしまうと、マスター以外にヘッドルームがない状態になってしまい、トラック間に音量差がある場合、ミキシングが少し難しくなります。全体的なボリュームレベルを得るためには、必ずMasterポットを使用してください。これにより、ターンテーブル間のミキシングを行う際の柔軟性が高まります。